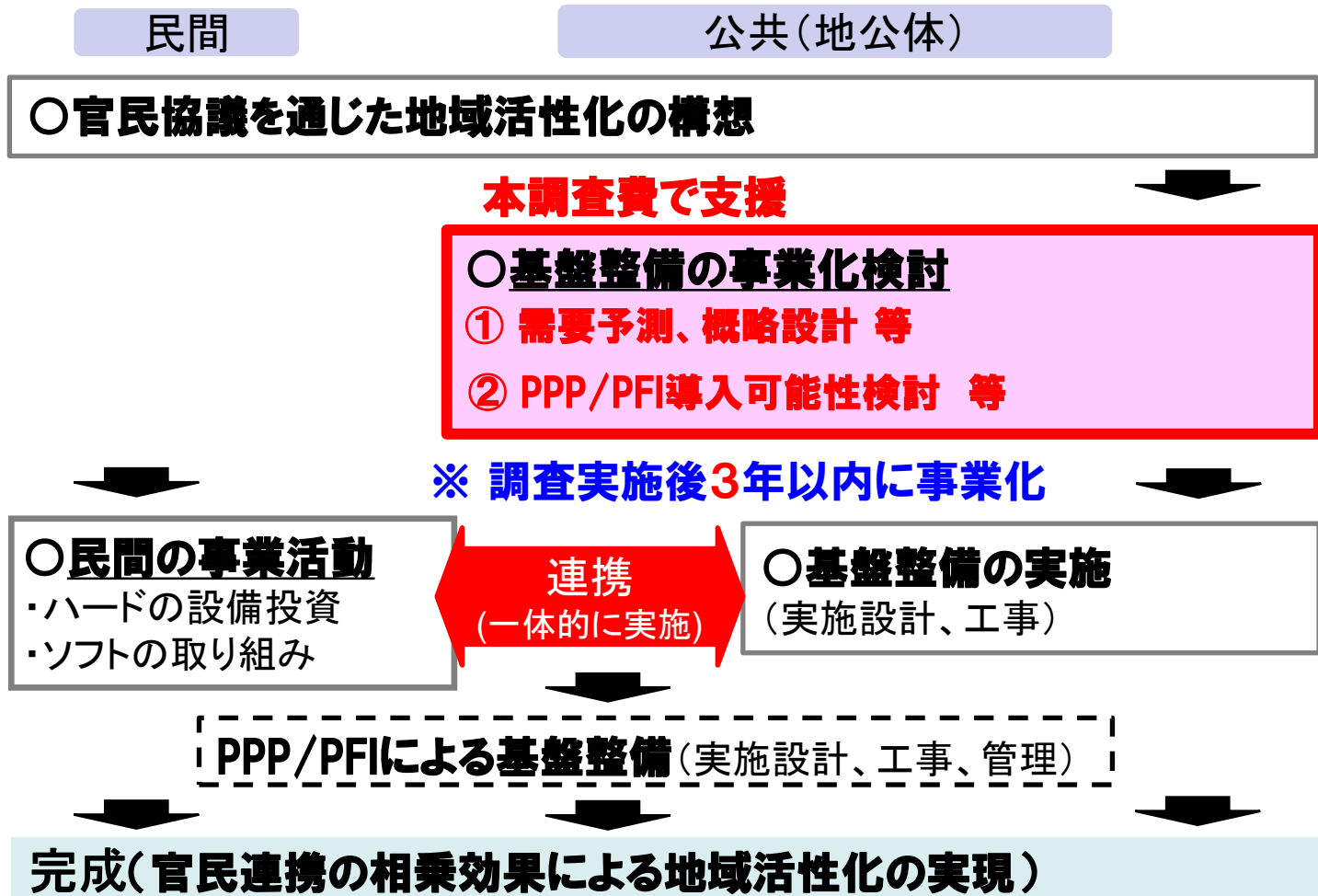


# 官民連携基盤整備推進調査費について

---

国土交通省 国土政策局  
広域地方政策課 調整室  
令和4年2月

官民連携基盤整備推進調査費は、地方公共団体が**民間**事業活動と**一体的**に実施する国土交通省所管の**基盤整備の事業化検討**を支援する補助金です。



# 道路関係

## ① 地域活性化の拠点となる「道の駅」整備の検討

### ○官民協議を通じた地域活性化の構想

高速道路の開通に向けた民間商業施設のリニューアル等とあわせて、地域振興施設・駐車場・公園等を整備し、「道の駅」といった広域周遊観光拠点とすることが必要



### ○官民連携基盤整備推進調査費の活用例

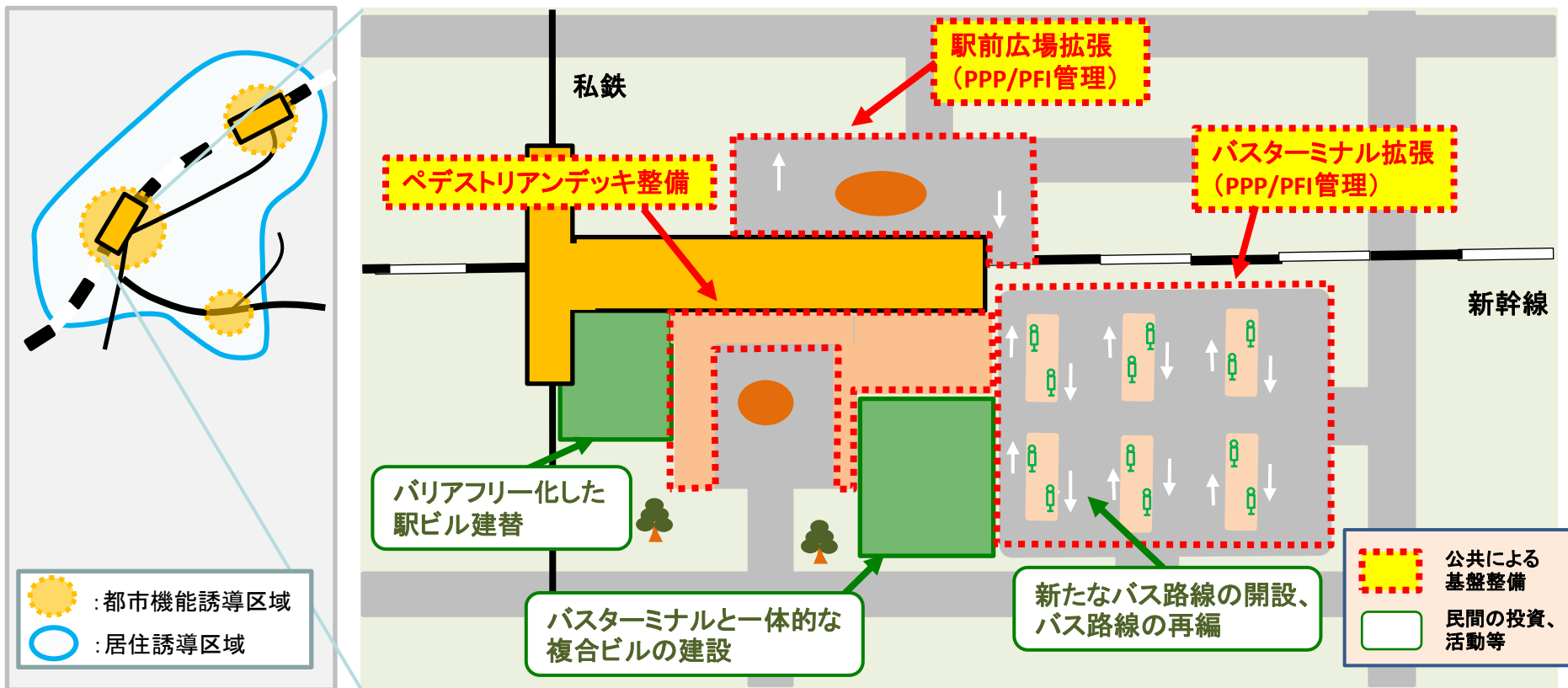
- ① 地域振興施設・駐車場・公園・アクセス道路等の整備に係る需要調査、配置検討、概略設計
- ② 地域振興施設の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

# 都市・まちづくり関係

## ② 交通結節機能強化のための駅周辺整備の検討

### ○官民協議を通じた地域活性化の構想

乗換えの動線強化や中・長距離バス停留所の集約等により、広域交通結節点としての利便性向上を図るため、民間事業者による駅ビル建替等とあわせ、利便性の高い駅周辺整備が必要



### ○官民連携基盤整備推進調査費の活用例

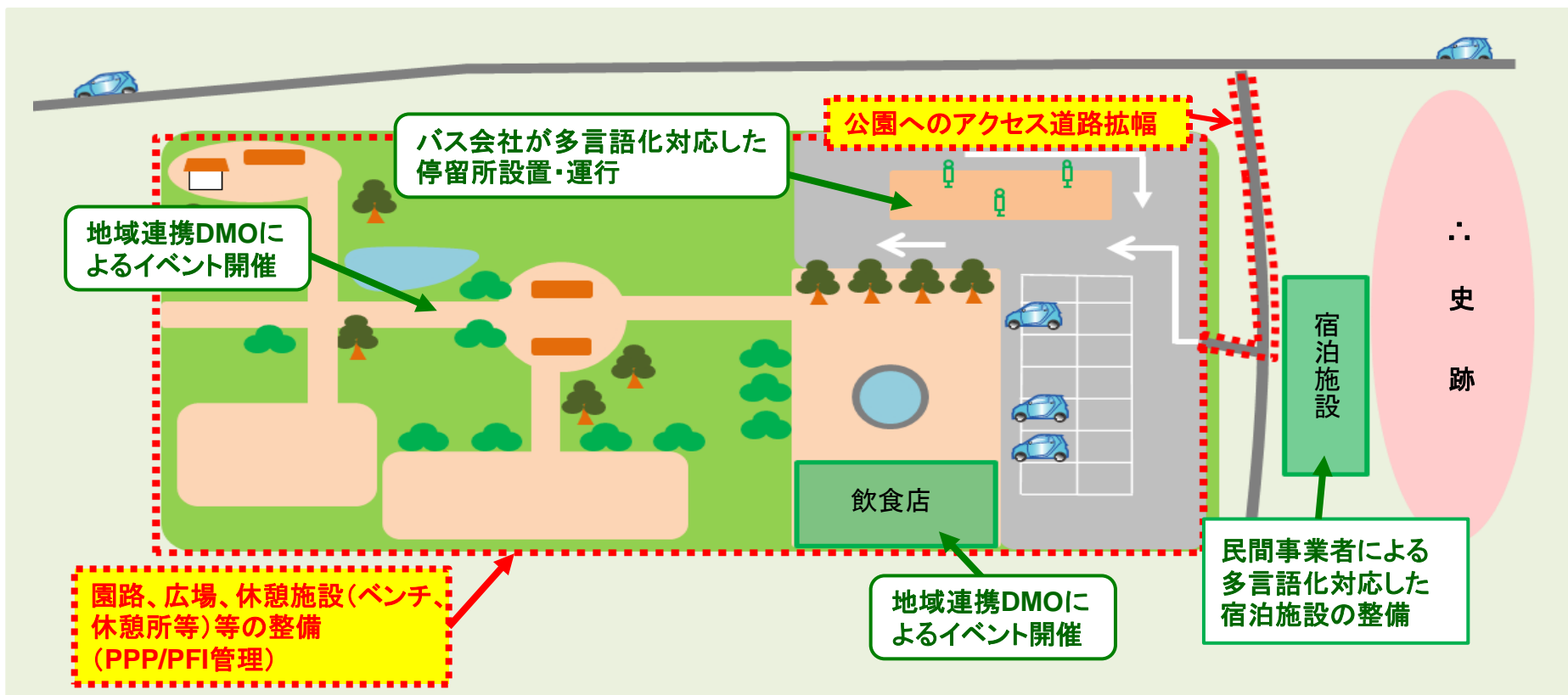
- ① 広域交流拠点形成に向けた駅前広場等の整備に係る需要予測、概略設計、整備効果検討
- ② 広域交流拠点形成に向けた駅前広場等の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討 等

# 公園関係

## ③ 観光振興のための公園整備の検討

### ○官民協議を通じた地域活性化の構想

市内の史跡とともにそれを含む公園が広域周遊観光拠点として位置付けられたため、民間事業者による宿泊施設整備等にあわせ、地域資源を活かした公園施設の整備等が必要



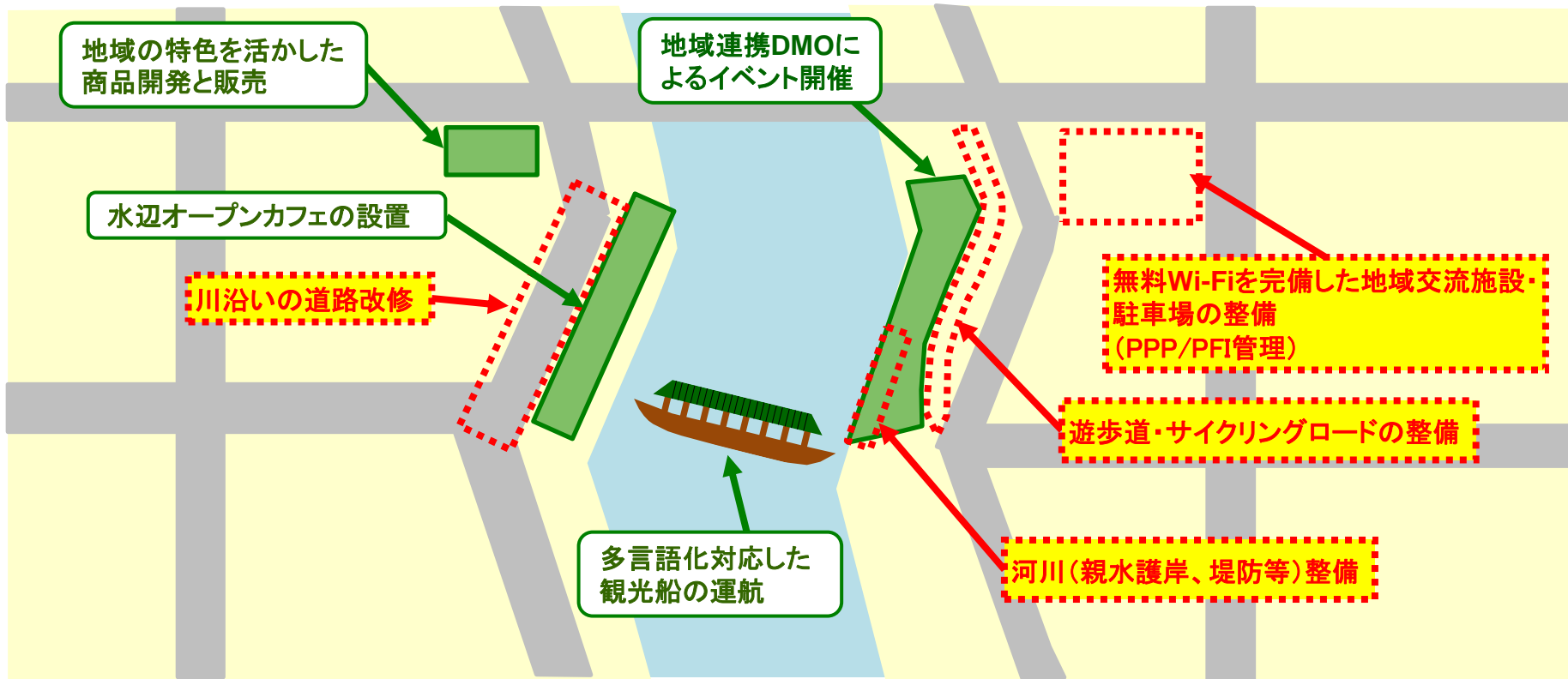
### ○官民連携基盤整備推進調査費の活用例

- ① 公園施設の再整備及びアクセス道路の拡幅に係る需要調査、基本計画策定、概略設計
- ② 公園施設の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討 等

## ④ 河川空間を生かしたかわまちづくりの検討

## ○官民協議を通じた地域活性化の構想

地域活性化のため、民間事業者による水辺オープンカフェの設置やイベントの開催等とあわせて、まちづくりと一体となった河川及び道路の整備が必要



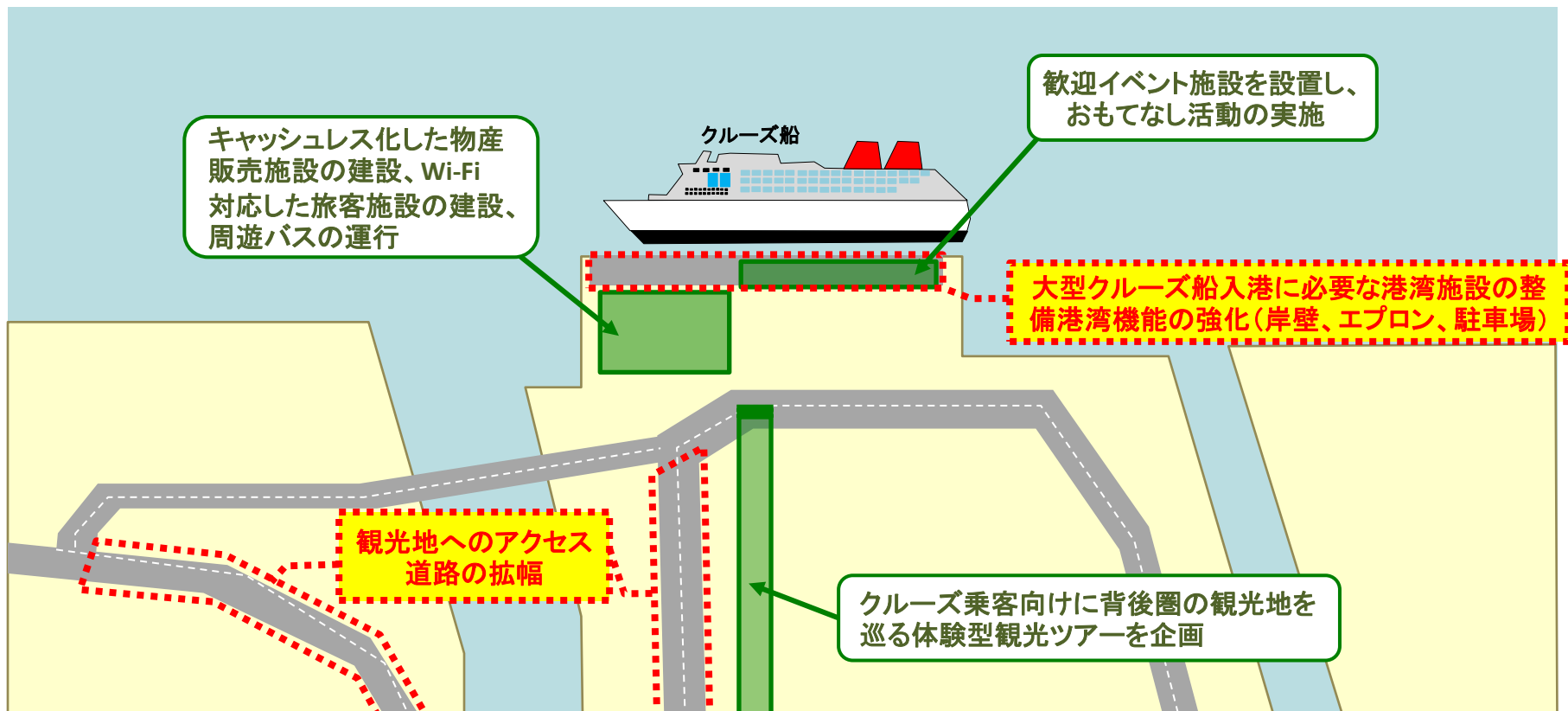
## ○官民連携基盤整備推進調査費の活用例

- ① 河川(親水護岸、堤防等)、地域交流施設・駐車場、道路等の整備に係る概略設計
- ② 地域交流施設・駐車場の整備等に係るPPP/PFI導入可能性検討 等

## ⑤ 大型クルーズ船受入のための港湾施設整備の検討

## ○官民協議を通じた地域活性化の構想

大型クルーズ船の寄港に向けた民間事業者による新規観光ツアーの企画や賑わい施設の整備とあわせて、広域周遊観光を促進するためのゲートウェイとなる港湾整備が必要



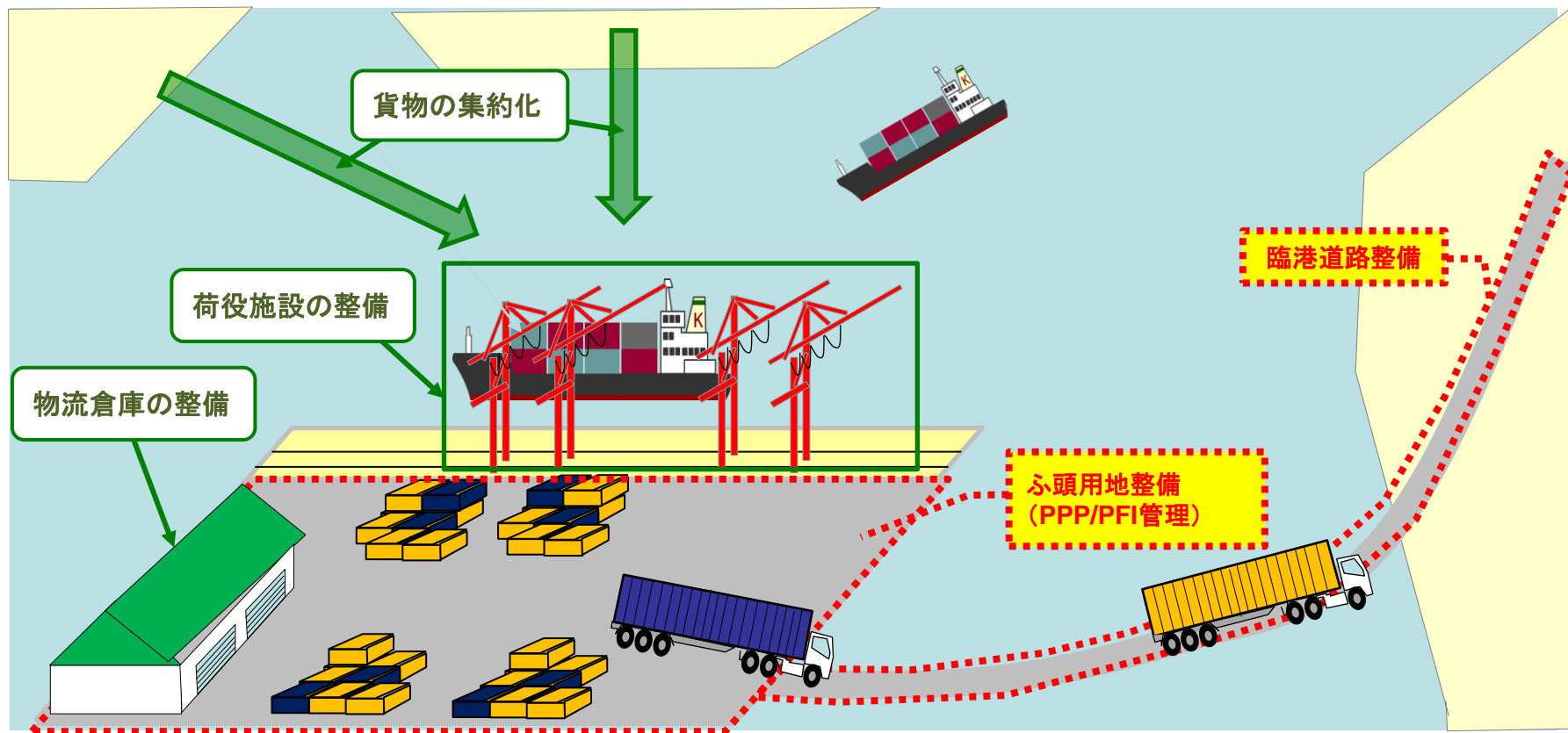
## ○官民連携基盤整備推進調査費の活用例

- ① 港湾施設整備に係る需要調査、大型クルーズ船寄港に必要な港湾機能の検討
- ② ①の調査結果を基に岸壁、エプロン、駐車場、アクセス道路の概略設計

## ⑥ 貨物集約化に伴う物流機能強化のための港湾施設整備の検討

## ○官民協議を通じた地域活性化の構想

港運会社による貨物の集約化、物流倉庫の整備等の取組にあわせ、ふ頭の再編に伴う岸壁及びふ頭用地の整備、新たな貨物拠点のふ頭と背後地を結ぶ臨港道路の強化が必要



## ○官民連携基盤整備推進調査費の活用例

- ① 臨港道路、ふ頭用地等の整備に係る取扱貨物量の需要予測、概略設計、整備効果検討
- ② ふ頭用地の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討 等



## 【支援対象となる調査内容】

### ① 施設整備の内容に関する調査

(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等

### ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査

(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

【配分先】地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】年3回配分

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月25日～2月18日	4月下旬
第2回	2月下旬～4月上旬	6月下旬
第3回	6月中旬～7月上旬	8月下旬

# 民間事業にあわせた基盤整備の検討の機動的な支援 (官民連携基盤整備推進調査費)

令和4年度予算額：331,000千円

民間事業にあわせ、機動的に基盤整備を進めるため、地方公共団体が  
行う事業化の検討を支援します。

PPP/PFIについては、新たにインフラの包括的運営の調査検討を重点支  
援します。

【支援内容】 民間の設備投資等と一体的に実施する基盤整備※の事業化の検討を支援

※ 国土交通省所管の道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

- ① 施設整備の内容に関する調査  
(基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等)
- ② 上記①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査  
(PPP/PFI導入可能性検討、VFM算定等)

【配分先】 地方公共団体 (都道府県・市町村等)

【補助率】 1 / 2

【重点支援する調査】

- ・ PPP/PFIの推進に資する調査 (新 特にインフラの包括的運営の調査検討を支援)  
(例) 道の駅の整備検討及び運営手法検討  
(例) 公園の整備検討及び周辺の公園を含めた管理手法検討
- ・ 広域的な観光又は交流拠点形成の促進に係る調査  
(例) 民間再開発と合わせた駅前広場の交通需要予測及び再整備検討

〈事例1〉


 PFI方式を活用した  
公園整備  
(滋賀県大津市)

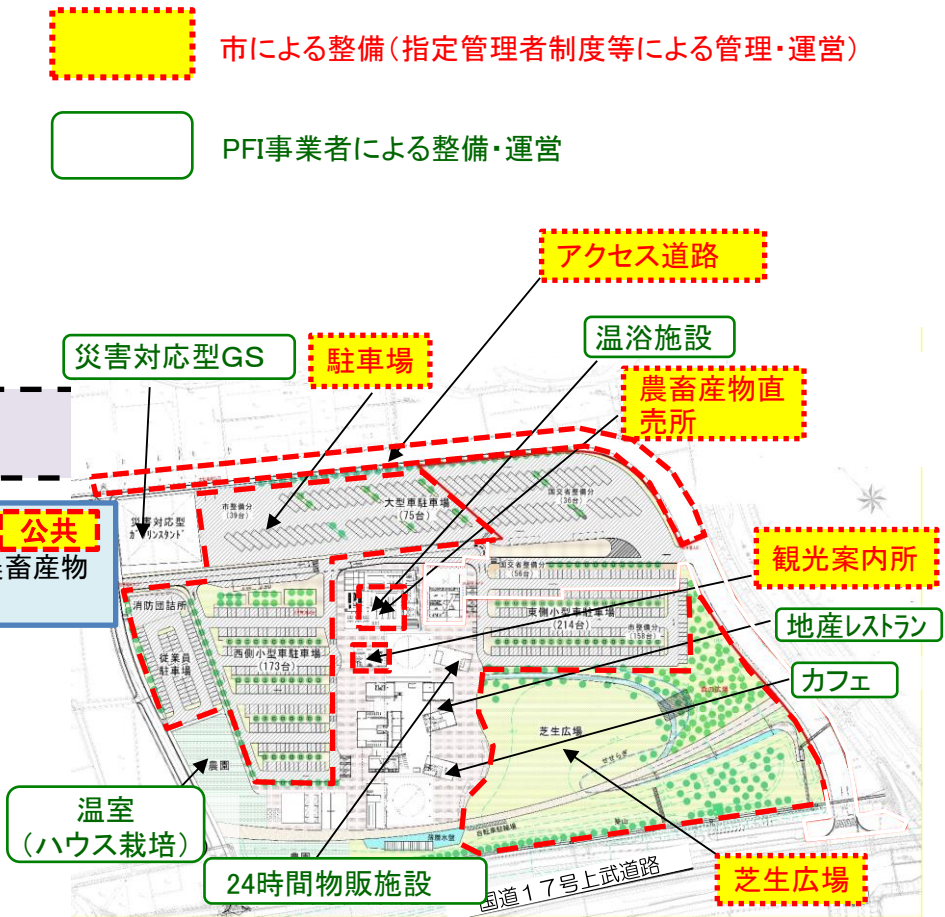
〈事例2〉

民間ビルの建て替え  
と併せた駅前広場再  
整備 (イメージ)  
(千葉県習志野市)



# 活用事例①(新たな道の駅整備)

国道17号上武道路は、平成28年度中の全線開通に向けて整備が進められ、交通渋滞の解消や物流の効率化に加え、地域経済活性化への寄与が期待されていた。  
これを契機に前橋市では、市北部に防災・復旧の中継拠点となる施設がないという問題点を解消するため、市北部の上武道路沿線に防災拠点と地域振興施設を兼ね備えた道の駅の整備を検討していた。



# 活用事例②(クルーズ船誘致)

三河港蒲郡地区では、輸出用完成自動車の取扱い等物流拠点としての役割を担ってきたが、取扱量の増加により既存施設では対応できない状況にあった。また、当該地区の後背地は豊富な観光資源を有しており、地域の活性化を目的として、貨物船だけでなくクルーズ船などの多目的利用等に対応するために必要な岸壁等の整備が求められていた。

【民間】

【公共】

- 官民協議を通じた地域活性化の構想
- ・自動車運搬船の大型化の進展を受けた対応岸壁等の整備
  - ・クルーズ船の誘致促進を位置付けた「あいち観光戦略」を策定(H28.2)

本調査費で支援(H28)

- 基盤整備の事業化検討
- ・輸出自動車量の需要予測を行い、必要とする積込ヤードや岸壁の規模の検証
  - ・クルーズ船受入に必要な岸壁の規模の検証、港湾施設の概略設計、乗船客等の導線を踏まえた受入体制の検証
  - ・クルーズ船寄港による効果の把握・分析

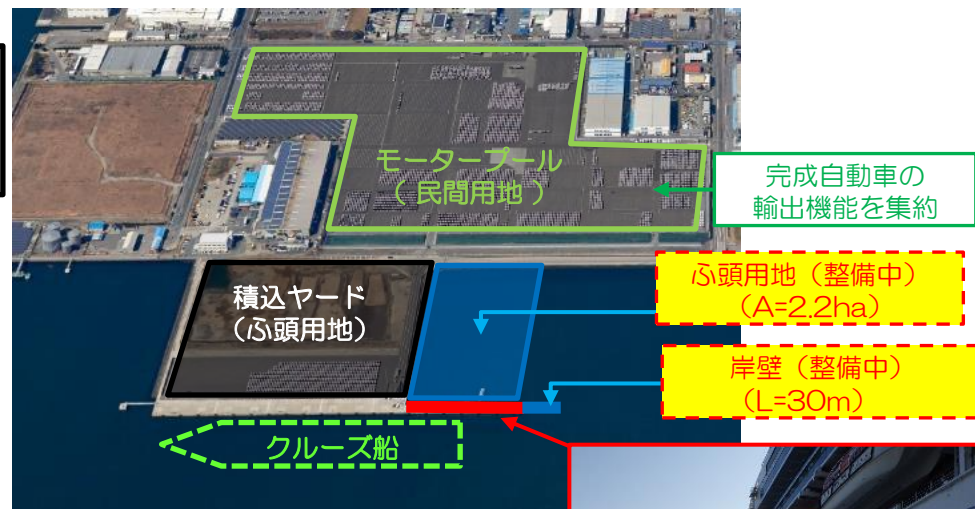
- 民間の事業活動
- ・クルーズ船の寄港やツアーの実施検討(H31~)
  - ・分散化している完成自動車の輸出機能の集約

連携

- 基盤整備の実施(H28~)
- ・岸壁、ふ頭用地の整備

公共

- 平成31年3月 岸壁の供用開始
- ・12万トン級クルーズ船が寄港可能



H31.3.27 大型豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」初寄港



観光会社によるクルーズ船入港に合わせたオプションツアーの実施

# 活用事例③(バスターミナル整備事業)

民間事業者が運営するバスターミナルであった旧盛岡バスセンターは、盛岡駅の東側約2kmに位置し、中心市街地のバス交通を盛岡駅とともに支えてきたが、施設の老朽化に伴い、平成28年9月に営業を終了した。地域公共交通網を維持し、地域のにぎわいを創出するため、旧バスセンター跡地にバスターミナル（公共施設）と民間収益施設が一体となった新たなバスセンター整備が必要とされていた。

【民間】

【公共】

○官民協議を通じた地域活性化の構想

・バスセンター再整備の方向性を位置づけた「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」策定(H29.3)

本調査費で支援(H30)

○基盤整備の事業化検討

・バスターミナル機能・規模の検討、需要調査、概略設計、概算事業費算出、整備効果検討  
 ・道路拡幅に係る概略設計、概算事業費算出、整備効果検討

○PPP/PFIによる基盤整備(代理人方式)

・第3セクターが市の代理人となり、バスターミナル・にぎわい施設の設計施工を一括発注

○民間の事業活動(R2~)

・バス運行情報提供装置の更新  
 ・にぎわい施設、飲食施設等の整備、運営

連携

公共

○基盤整備の実施(R2~)

・周辺道路の拡幅  
 ・バスターミナル整備費の負担

(仮称)新盛岡バスセンター  
 令和4年度開業予定

・にぎわい施設(民間事業者による管理、運営)  
 ・バスターミナル(市による管理、運営)



特別目的会社(SPC)によるにぎわい施設(温浴施設、宿泊施設等)の整備、運営

民間事業者による飲食施設等の整備、運営



# 活用事例④(市街地における再開発事業)

大崎市は、少子高齢化と商業の衰退、並びに東日本大震災の影響によって、市街地中心部の衰退が顕著であった。  
 そこで、災害に強く、市街地に活気を取り戻すための取り組みを始めたところ、中心市街地における防災拠点の必要性、土地区画整理などの再編の必要性およびアクセス道路の脆弱性の課題が浮上した。

【民間】

【公共】

○官民協議を通じた地域活性化の構想

・「大崎市中心市街地復興まちづくり計画」の策定(H25.3)

本調査費で支援(H26)

○基盤整備の事業化検討

- ・広域防災活動拠点(道の駅、防災施設等)、子育て支援施設の土地利用計画、配置計画の作成、事業費算定の算出
- ・市役所周辺地区の土地利用計画、事業手法、事業計画等の作成

○民間の事業活動(H29~)

・商店街の市街地再開発

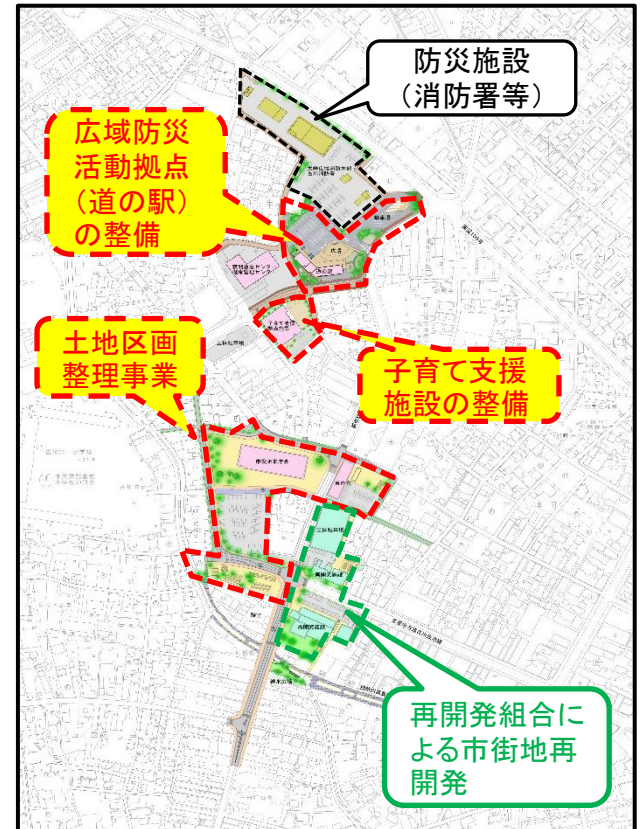
連携

○基盤整備の実施(H27~)

公共

- ・道の駅、子育て支援施設の整備
- ・市役所周辺地区の土地区画整理事業

○道の駅「おおさき」開業(令和元年7月開業) ・土地区画整理事業(令和4年3月完了予定)



# 活用事例⑤(観光拠点として公園整備)

金田一温泉のシンボルである金田一近隣公園内の市営の金田一温泉センター（H10開業）及び金田一プール（S29設置）は、老朽化による施設劣化が著しくリニューアルは喫緊の課題となっていた。  
また、金田一温泉では、最盛期の昭和50年代をピークに旅館数が減少しており、かつてのにぎわいを取り戻すため地域が独自の取組や発信に努めてきた。

【民間】 【公共】

○官民協議を通じた地域活性化の構想  
・金田一温泉の振興について位置付けた「第2次二戸市総合計画アクションプラン・実施計画」を策定(H29.2)

本調査費で支援(H30)

○基盤整備の事業化検討  
・滞在型観光拠点としてのプール、デッキ、駐車場等の公園施設の基本計画及び概略設計検討  
・公園の整備・管理に係るPPP/PFI導入可能性検討(VFM、サウンディング調査等)

○PPP/PFIによる基盤整備の実施  
・Park-PFI\*事業者(地元民間企業)が公園全体の設計、整備等

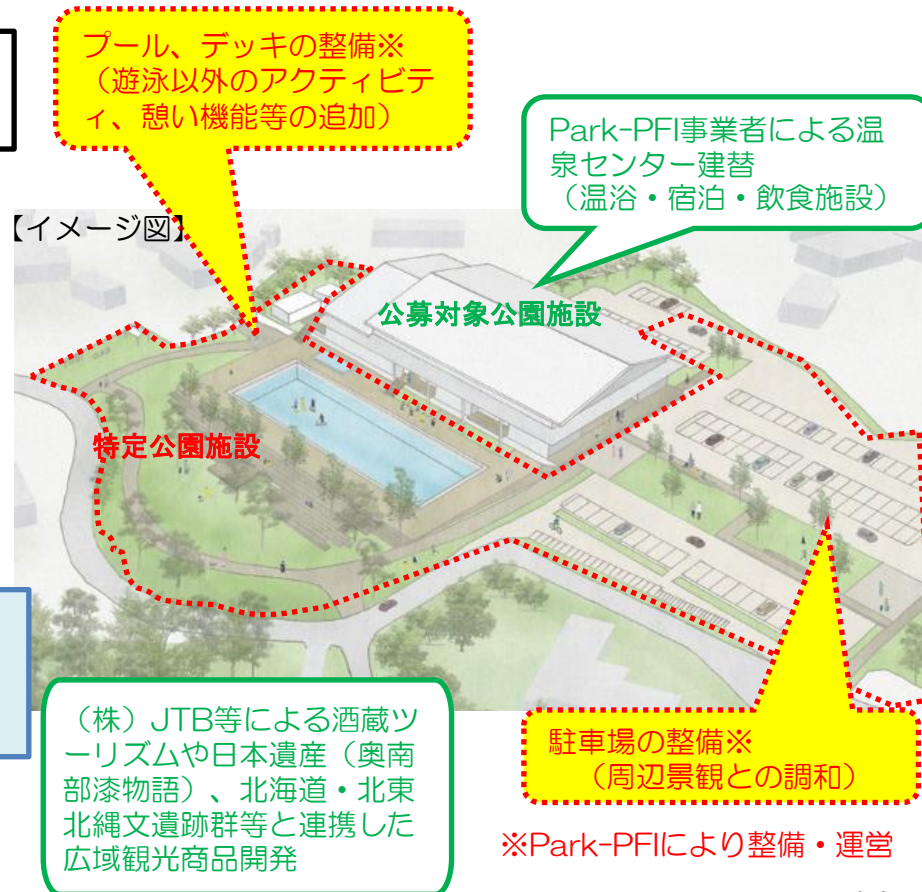
○民間の事業活動(R1~)  
・公募対象公園施設(温泉センター、飲食施設、宿泊施設等)の整備、運営  
・広域観光商品開発

○基盤整備の実施(R1~)  
・特定公園施設(プール、デッキ、駐車場)の整備費の負担

公共

連携

金田一近隣公園(令和4年春供用予定)  
・Park-PFIによる公園の管理

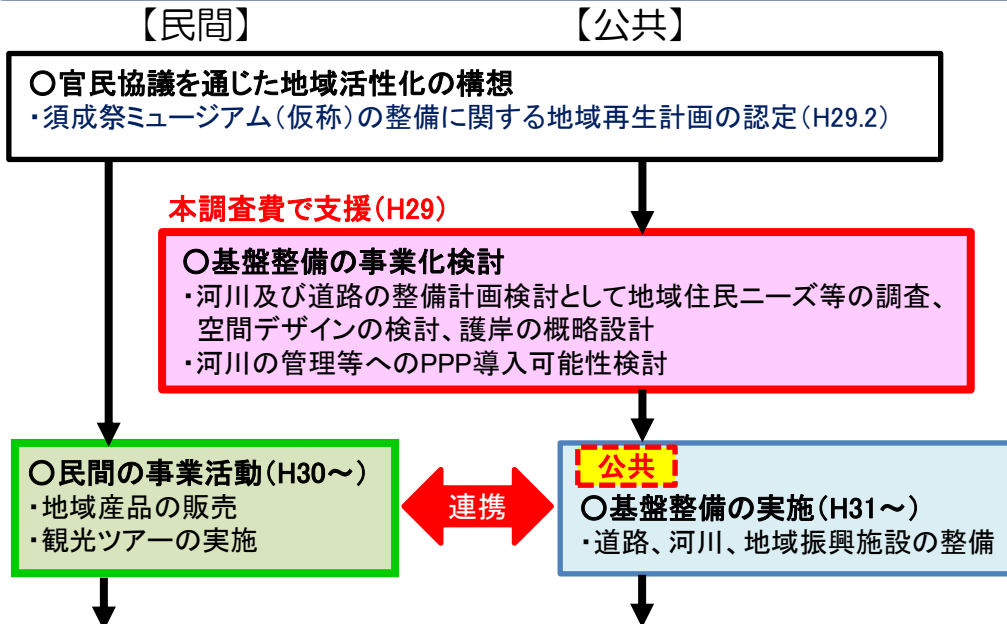


\*Park-PFI: 都市公園法に基づく「公募設置管理制度」

# 活用事例⑥(かわまちづくり事業)

蟹江町では、祭礼行事として江戸時代から行われている須成祭（すなりまつり）が平成28年12月にユネスコ無形文化遺産登録に登録された。これにより観光客の増加が見込まれる中、観光客が安全で快適に祭り開催地域を周遊できるように、車楽船（だんじりぶね）が巡航する蟹江川河岸及びミュージアム（観光交流施設）周辺の堤防、道路を再整備する必要があった。

すなりまつり かにえ だんじりぶね  
須成祭：蟹江川を巡航する車楽船



【整備終了後 イメージ図】



【観光ツアーの実施】



○本調査費のHPをご活用ください。

<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>

(掲載情報)

- ・募集情報
- ・調査事例(年度別、分野別) ※採択時のポンチ絵
- ・調査成果報告書(年度別) ※調査実施後のポンチ絵
- ・成果事例(分野別) ※調査実施後の事業化の状況のポンチ絵

○ちょっとしたことでも、ご遠慮なく、担当者にお問い合わせ、ご相談ください。

(問い合わせ先)

国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 調整室

(e-mail) [hqt-chouseisitu@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-chouseisitu@gxb.mlit.go.jp) (tel) 03-5253-8360

ご静聴ありがとうございました。